

# 在宅療養講演会・事例検討会 の実施について

令和3年10月20日  
地域医療課

# 令和3年度の在宅療養講演会について

## 【概要】

- ・在宅療養講演会の各回で、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の内容を盛り込み、終末期の過ごし方について考える機会とする。
- ・また、家族向けのテーマを取り上げ、子世代区民の参加を促す。

開催日時	会場	講師（敬称略）	定員
7月18日（日） 14時～16時	勤労福祉会館	メディケアクリニック石神井公園 医師 長濱 久美 ほか	50名
9月12日（日） 14時～16時	光が丘区民ホール ※新型コロナウイルスの感染状況を受け、Zoom開催に変更予定	ホームクリニックえにし 医師 天本 健司 ほか	60名
11月13日（土） 14時～16時	区民・産業プラザ Coconeriホール ※新型コロナウイルスの感染状況を受け、Zoom開催に変更予定	さくらクリニック練馬 医師 佐藤 志津子 ほか	100名

# 第1回在宅療養講演会

「自分らしく自宅で最後まで過ごすために

- ひとり暮らしでも、安心してご自宅で最期まで過ごせるのか？」

## 講師

メディケアクリニック石神井公園 長濱 久美 先生

南大泉地域包括支援センター 高瀬 美登里 氏、佐藤 笑 氏

日程	形式	会場	定員	参加者数
7/18 (日)	本会場	勤労福祉会館	50名	55名
7/18 (日)	同時中継	貫井図書館	25名	20名
9/5 (日)	後日上映会	南大泉図書館	60名 (午前30名、午後30名)	32名
9/5 (日)	後日上映会	貫井図書館	50名 (午前25名、午後25名)	31名
9/20 (祝)	後日上映会	大泉図書館	20名	15名
			合計	153名

# 第1回在宅療養講演会

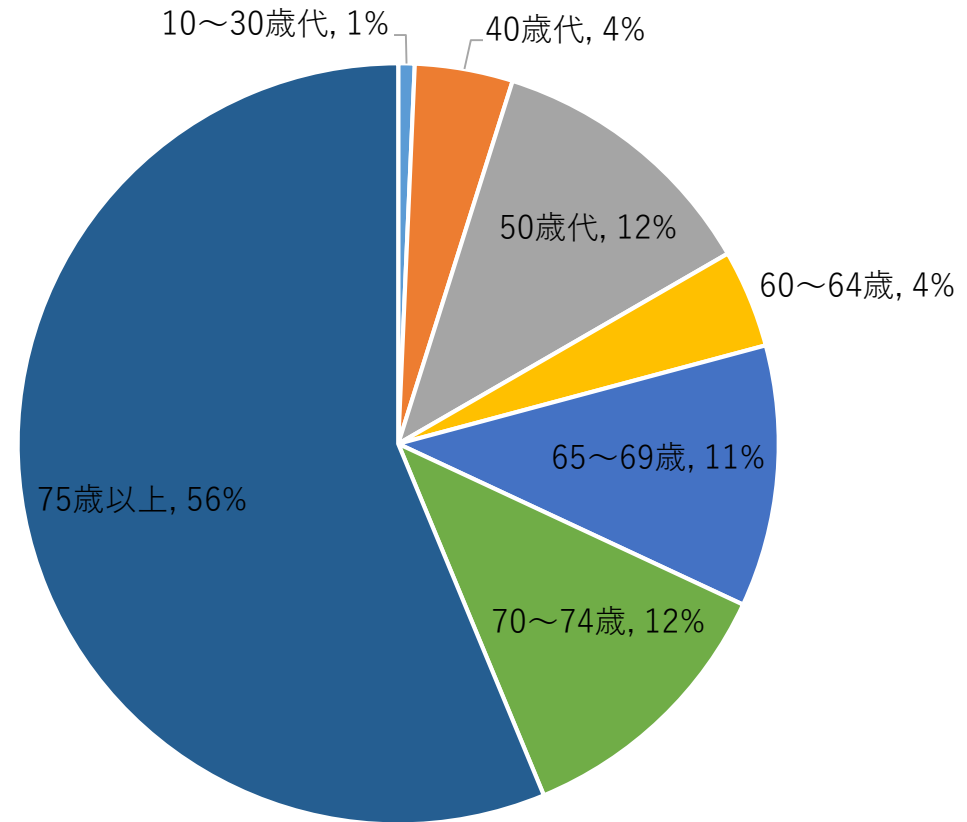
アンケート

(1) 参加者の年齢層（本会場、同時中継、後日上映会含む）

全体  
(n=147)

年代	人数
10～30歳代	1
40歳代	6
50歳代	17
60～64歳	6
65～69歳	16
70～74歳	17
75歳以上	81

※無回答3



参加者の約8割が65歳以上だった（うち55%が75歳以上だった）。

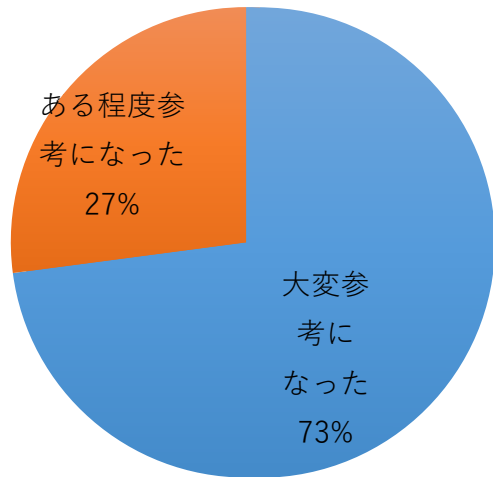
# 第1回在宅療養講演会

## アンケート

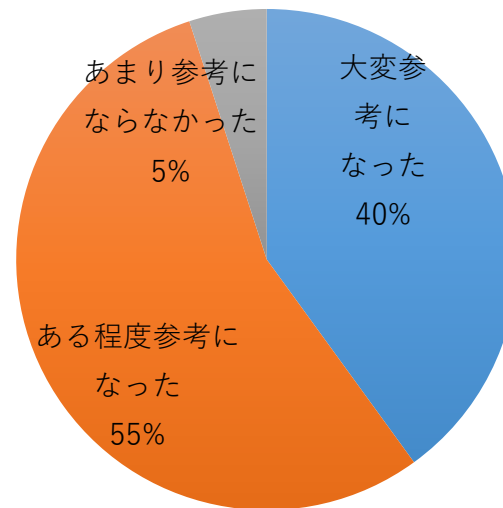
### (2) 講演会の内容は参考になったか

参考になったか	会場	同時中継	後日上映会
大変参考になった	35	8	39
ある程度参考になった	13	11	26
あまり参考にならなかった	0	1	1
まったく参考にならなかった	0	0	1

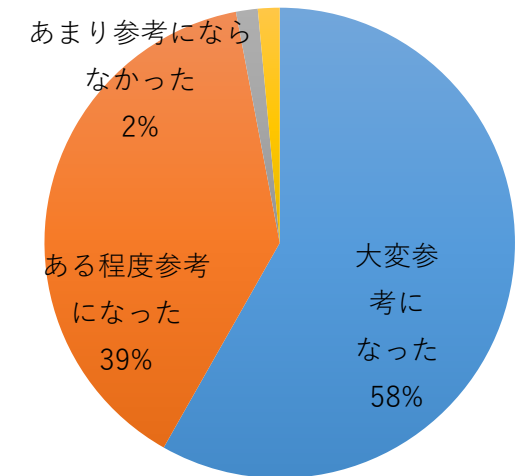
#### 会場



#### 同時中継



#### 後日上映会



#### 自由意見 (抜粋)

- ・在宅は、家族の支えが必要と思っていたが、一人でも大丈夫とわかった。
- ・一人では生きられない、施設に入るしかないのか・・・と考えていたが、行政でこのようなケアがあることを知り、安心した。
- ・具体例がいくつかあり、わかりやすかった。
- ・今のところ独居で健康な高齢者ですが病気になった時、どういう支援が受けられるのか参考になりました。

会場、同時中継、後日上映会で、若干の差が生じたものの、概ね参考になったという意見が多かった。

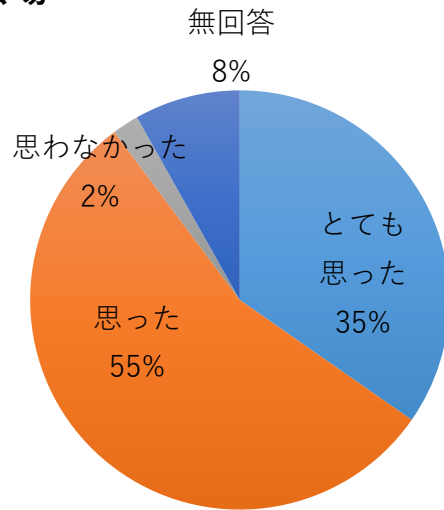
# 第1回在宅療養講演会

アンケート

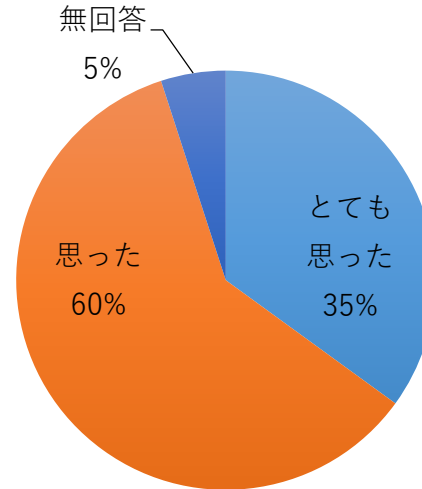
(3) 人生の最終段階における受たい医療・介護、受たたくない医療・介護について家族や医療・介護スタッフと話し合いたいと思ったか

話し合いたいと思ったか	会場	同時中継	後日上映会
とても思った	17	7	15
思った	27	12	49
思わなかった	1	0	1
まったく思わなかった	0	0	0

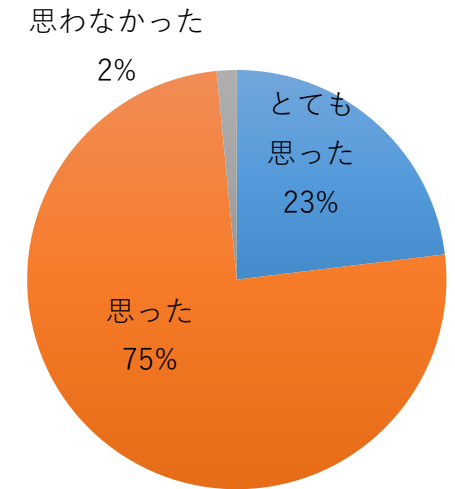
会場



同時中継



後日上映会



自由意見 (抜粋)

- ・いざとなった時は気持ちが動揺するだろうから、早めに冷静なうちに話し合いたい。
- ・元気なうちに話しておくことが大事。自分自身どうしたいか考えておくことも、重要だと思ったので。
- ・独身ひとり世帯なので、誰に何を相談するか？未だイメージができない。
- ・相談しながら納得のいく様にしたい。
- ・元気なうちに、自分の希望を話しておきたいと思いました。
- ・住み慣れた家で医療や介護を受けながら暮らしたいと思うから。

会場、同時中継、後日上映会で、ほとんどアンケート結果に差が出なかった。

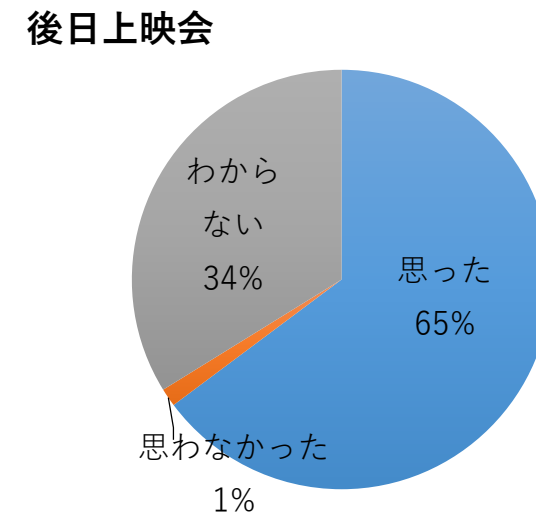
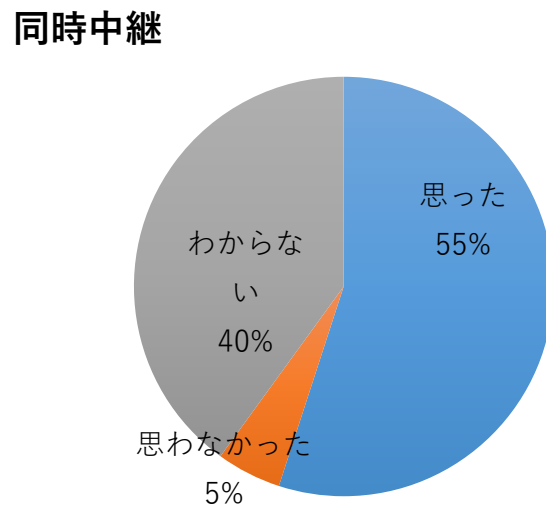
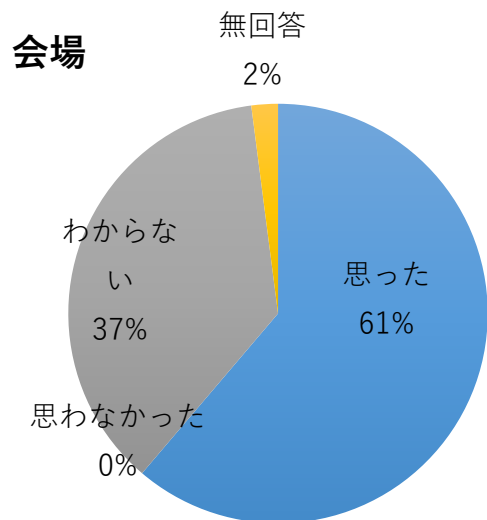
多くの方にとって、人生の最終段階における受たい・受たたくない医療・介護について話し合いたいと思える講演会となった。

# 第1回在宅療養講演会

アンケート

(4) 医療や介護が必要になっても自宅で過ごしたいと思ったか

自宅で過ごしたいか	会場	同時中継	後日上映会
思った	30	11	46
思わなかった	0	1	1
分からない	18	8	24



自由意見 (抜粋)

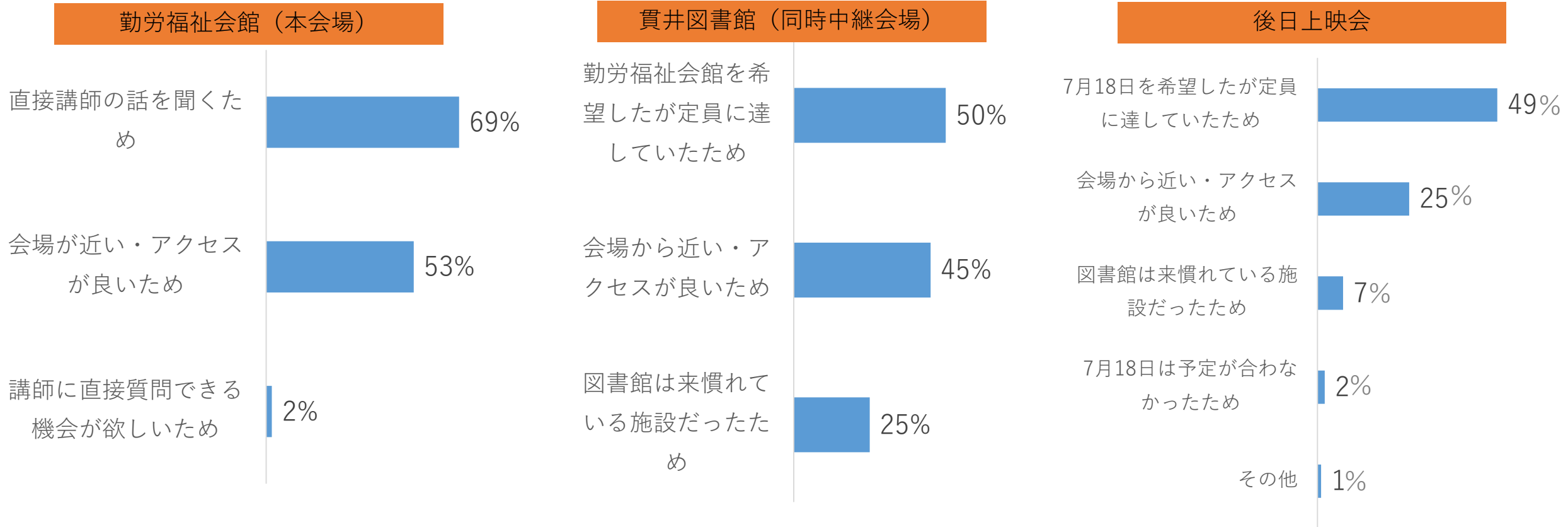
- ・何より自宅が好きで、過ごすことが可能とわかった。
- ・病院の独特のにおいが嫌いです。慣れ親しんだ自宅で介護を受けられると知り安心しました。
- ・家族の希望をきいてみないとわからない
- ・やはり家族の協力も必要になるので、考えてしまう。
- ・行政と関わりを持ち続けて行けることに安堵感を持ちました。
- ・自分らしく最期をむかえられる方法が、模索すればあるのでは。
- ・家族に迷惑をかけたくないと思った。
- ・自分がどういう状態になるかわからないので。

会場、同時中継、後日上映会で、ほとんどアンケート結果に差が出なかった。  
自宅で過ごしたいと思った方が約6割いるのに対し、約4割の方は、わからないと回答した。

# 第1回在宅療養講演会

アンケート

(5) 各会場を選んだ理由



直接講師に話を聞きたいというニーズが高いことがわかった。

同時中継会場を選択した方の半分は、本会場を希望していたが、定員になってしまったことが理由だった。



# 第1回在宅療養講演会

## 総括

- 本会場での視聴を希望している方が多くいた。
- 本会場と同時中継、後日上映会で、参加者の回答に大きな違いはなく、同時中継や後日上映会でも本会場に遜色ない講演が提供できたことが伺えた。（後日上映会では、会場によって一部聞き取りにくい環境があった。）
- 図書館での同時中継、または上映会を行うことで、ネット環境がなくても、身近な場所で講演を聞く機会を提供することが出来た。

## 第2回在宅療養講演会

「いま、考えておきたい家族の最期～自宅で療養ということ」

### 講師

ホームクリニックえにし 天本 健司 先生

田柄地域包括支援センター 奥村 綾子 氏

日程	形式	会場	定員
<del>9/12 (日)</del>	本会場	光が丘区民ホール	60名
9/12 (日)	Zoom	自宅等	60名
10/22 (金)	振替上映会	光が丘区民ホール	60名
10/23 (土)	後日上映会	貫井図書館	50名 (午前25名、午後25名)
11/6 (土)	後日上映会	20階交流会場	40名 (午前20名、午後20名)
11/14 (祝)	後日上映会	南大泉図書館	30名

※新型コロナウイルス感染者数の急増を受け、9月12日(日)に実施する予定だった、本会場(光が丘区民ホール)での講演は中止とし、Zoom開催とした。

本会場への参加予定者については、振替上映会を新たに設け、Zoom、振替上映会、後日上映会の希望の会にそれぞれ案内をした。

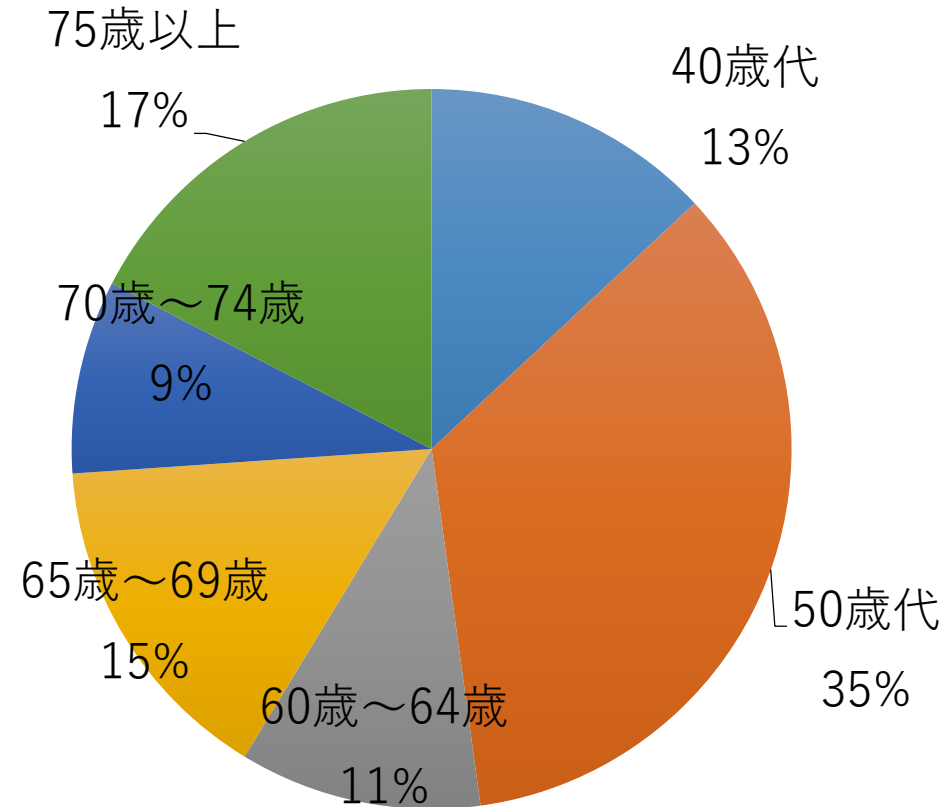
# 第2回在宅療養講演会

アンケート

(1) 参加者の年齢層

全体  
(n=46)

年代	人数
40歳代	6
50歳代	16
60歳～64歳	5
65歳～69歳	7
70歳～74歳	4
75歳以上	8
合計	46



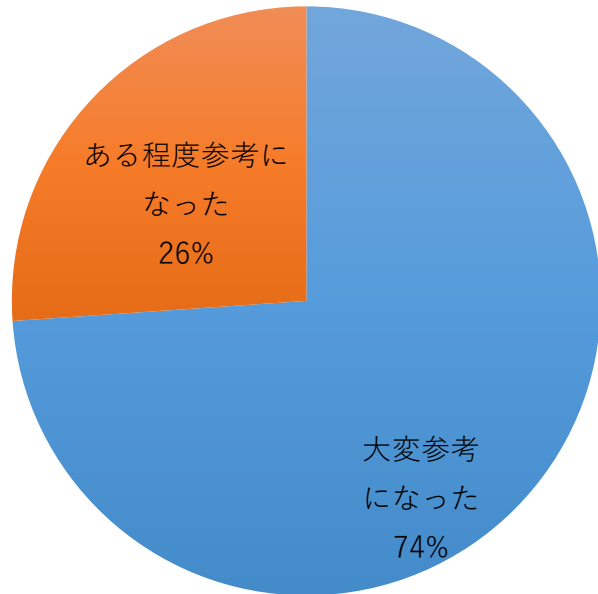
参加者の約5割が40歳代または50歳代だった。

# 第2回在宅療養講演会

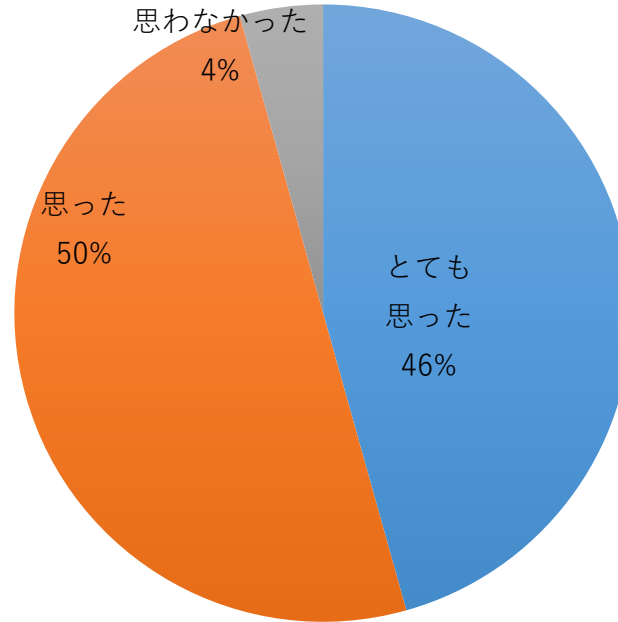
アンケート

(2) 講演会に対する評価

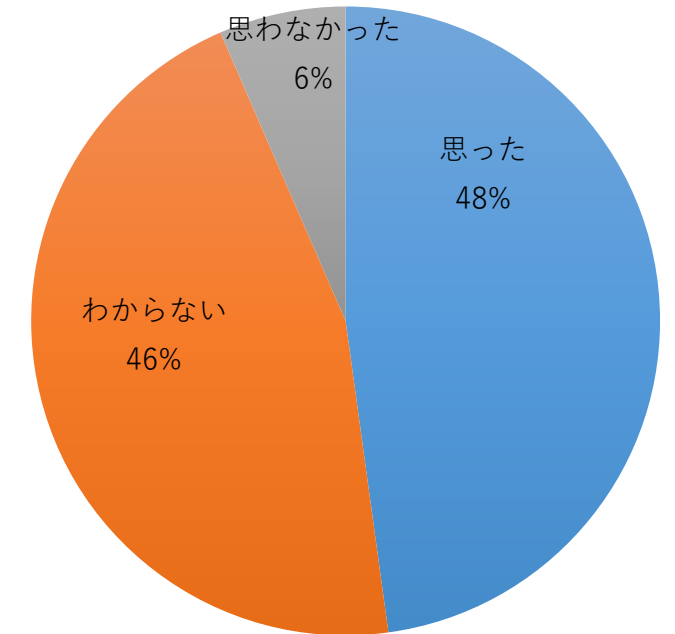
参考になったか	人数
大変参考になった	34
ある程度参考になった	12



話し合いたいと思ったか	人数
とても思った	21
思った	23
思わなかった	2



自宅で過ごしたいか	人数
思った	22
わからない	21
思わなかった	3



Zoomでの講演会でも、講演会に対する評価は高かった。

# 第2回在宅療養講演会

## 総括

- Zoomの参加者については、40～50歳代が多い結果となった。
- Zoomでも満足度の高い講演会を行うことが出来た。

# 令和3年度の事例検討会について

## 【概要】

- ・多職種顔の見える関係づくりと相互理解の促進のため、多職種でグループディスカッションを用いた検討を行う。
- ・テーマとしてACP、コロナ禍における在宅療養、ICT活用促進などを取り上げる。

	日時	場所	コーディネーター（敬称略）	地区
第1回	7月9日（金） 19時～21時	区民・産業プラザ Coconeriホール	フローラ石神井公園地域包括支援センター	石神井
第2回	10月1日（金） 19時～21時		岡田医院 岡田 徹也（医師）	練馬
第3回	11月26日（金） 19時～21時		ねりま西クリニック 大城 堅一（医師）	大泉
第4回	1月29日（土） 14時～16時		訪問看護ステーション連絡会	光が丘

# 第1回事例検討会

「コロナで困ったあれこれ-コロナ対応で見えてきた在宅療養における大切なこと-」

## コーディネーター

フローラ石神井公園地域包括支援センター 藤木 ゆき子 氏

## パネリスト

陽だまり看護ステーション大泉サテライト	高橋 寛 氏 (看護師)
高野台デイサービス	佐々木 克直 氏 (介護福祉士)
ラ ヴィータ武蔵関	本橋 雅子 氏 (介護福祉士)
ケアプラン華うさぎ	高野 忍 氏 (主任ケアマネジャー)
かたくり武蔵関	遊佐 美奈子 氏 (主任ケアマネジャー)

## 企画の狙い

- ・新型コロナウイルス感染症について、自身の経験を振り返り、今後起こるであろう第4波、5波のみならず、次なる新型コロナウイルスに対しての経験・知恵を集積する。
- ・事業所を超えてコロナウイルス対策を出し合うことで、コロナ禍の中で質を落とさない在宅療養のヒントを得る。

## 概要

コロナで困ったあれこれについて、参加者が持ち寄り、ディスカッションをした。その時の事例について、事例集にまとめ、発行した。

## 第2回事例検討会

### 「新型コロナウイルスで亡くなった父と娘の私にできたこと」

#### コーディネーター

岡田医院 岡田 徹也 氏

#### パネリスト

ご家族の話                      娘様

訪問看護ステーションGift 田口 由理 氏（看護師）

第二光陽苑居宅介護支援事業所 萩原 久美子 氏（ケアマネジャー）

しきな武蔵関 野口 智正 氏（ケアマネジャー）

#### 企画の狙い

- ・新型コロナウイルスによりお父様を亡くされた娘様の話を聞き、ご家族としての当時と現状を知る。
- ・本人の希望を知ること、仮に希望が叶わなかったとしても、納得の最期を迎えられるケースがあることを知る。

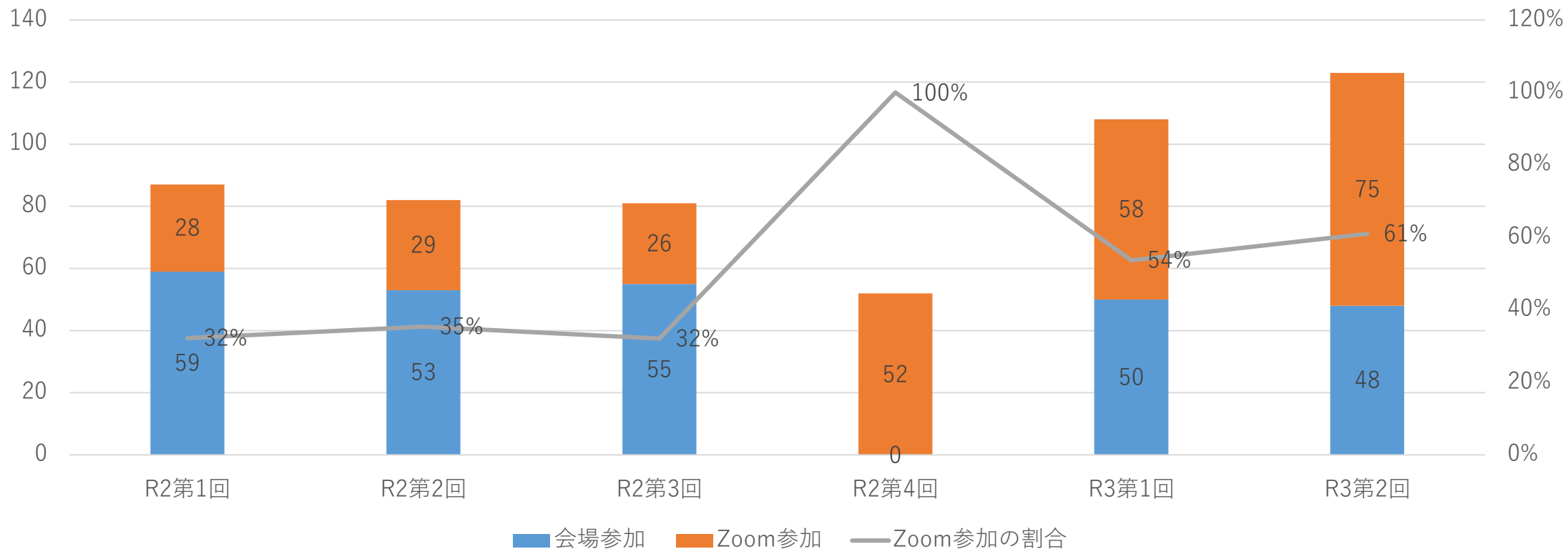
#### 概要

パネリストによる事例紹介のあと、コーディネーターと娘様による対談で、ご家族としての想いを聞いた後、グループで感想を共有した。



# 事例検討会の参加者数の推移

事例検討会の参加者数の推移（参加形式ごと）



※R2第4回については、第3波の緊急事態宣言中につき、完全オンライン参加に変更した。

●令和2年度に比べ、令和3年度は多くの方がZoomで参加している。